

2025年度

被爆・戦後80年 いのち♡たいせつ の取り組み

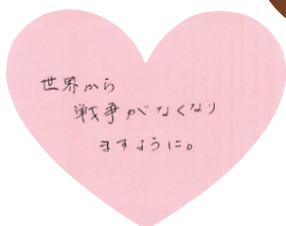
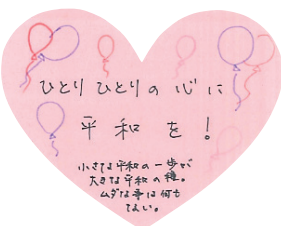
2025年度、コープしがでは“平和”のたいせつさを考える場として、さまざまな取り組みを行いました。

ピースアクション in オキナワ (3月)

実際に現地に行って、糸数塚（アブチラガマ）や平和祈念資料館などを巡り、現在の沖縄における諸問題や、これからの平和をめぐる課題について考えました。



折り鶴と平和のメッセージ募集 (6月)

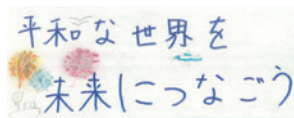


改めて考える「平和」について総代や組合員のみさんから平和へのメッセージと折り鶴を寄せられました。

子ども平和新聞プロジェクト (7~8月)

次世代を担う子どもたちが新聞づくりを通して、平和について考える企画を実施しました。

新聞記者の方から新聞の書き方を学んだり、滋賀県平和祈念館にて戦時食ボランティアの方や学芸員の方に取材をして、新聞を作成しました。



県内戦争遺跡巡り (5月)

私たちの住む滋賀県にも、戦争の傷跡が多く残っている事を実際に見て感じ、戦争を身近な事として考えました。

いのちたいせつカフェ (7月)

平和をテーマにみんなでおしゃべりして、平和の大切さに気づき、自分にできる小さなアクションにつなげることができる企画を4会場で開催しました。

参加者が作った千羽鶴はヒロシマ平和スタディツアーで原爆の子の像に奉納しました。



ヒロシマ平和スタディツアー (8月)

実際に現地に行き、原爆ドームや原爆供養塔などを巡ったり、原爆死没者慰霊式・平和祈念式典に参列しました。戦争のない社会の実現のために戦争の歴史や体験を学び、改めて平和について考える機会となりました。

原爆の子の像では、総代や組合員が想いを込めて折った千羽鶴を奉納しました。



2025年度の取り組みをきっかけとして、今後もいのちの大切さを考える取り組みをすすめていきます。